



©中島英雄

イングリット・フジコ・ヘミング

ピアノソロリサイタル

2011年
12月2日
(金) AM10:00~
一般発売

2012 **5.28**
(月) PM 6:45開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥ 13,000 A ¥ 9,000 B ¥ 6,000
学生 ¥ 3,000 (税込)

**お問合せ
お申込み** 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM9:30~PM5:30 / 土・日・祝日休業)

インターネットからでもお申込み頂けます。 <http://cte.jp> 中京テレビ事業

チケット販売所

チケットぴあ (Pコード 154-605)	0570-02-9999	栄プレチケ92	052-953-0777
愛知芸術文化センターPG	052-972-0430	中日サービスセンター	052-263-7282
ローソンチケット (Lコード 46265)	0570-084-004	イープラス	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755	セブンイレブン店頭 (セブンコード 013-694)	他

学生券 ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

●プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 ●未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催 / 中京テレビ放送

Ingrid Fuzjko Hemming イングリット・フジコ・ヘミング

今年もフジコさんに会える!!

音楽評論家 萩谷由喜子

肉食主義者でジャガイモが好き、というフジコさんのあのパワーは、いったいどこから湧いてくるのだろうか?

フジコさんがひとたびピアノに向かうと、決して俊敏とはいえない動きから思いがけないエネルギーに満ちた音、音、音が魔法のように流れ出す。腕の上げ下げも指さばきも一見重たげに見えるのだが、不思議なしなやかさがある、甘く切ないショパンのノクターンも、リストの難曲「ラ・カンパネラ」もいつしか制覇してしまうのだ。どうしてこのようなパワーを発揮できるのか、聴くたびに驚嘆させられる。

和服の生地か独特の風合いのある織物を用いた個性的なコスチューム、髪には生花といういでたち。ピアノの譜面台の脇に置かれた、亡き母上の手作りだという形見のプレスレット。それらがこの奇跡のパワーの源なのだろうか?たしかに、それらお気に入りのアイテムもフジコさんに元気を与えているに違いないが、彼女の演奏に息づく強靱な生命力は、ピアノを唯一の自己表現手段として逆境を耐え抜いてきたフジコさんの、ピアノへの愛と感謝の発露なのではなかろうか。

そんなフジコさんの熱いソロ・リサイタルを2012年5月も聴くことができる。プログラムの詳細はまだ発表されていないけれど、2012年はドビュッシー生誕150年にあたるから、きっとお得意レパートリーのうちから、「亜麻色の髪の乙女」や「月の光」などドビュッシーの小品類もとりあげられそうだ。「西風のみたもの」や「グラナダの夕べ」「ゴリウヅクのケーキウォーク」などもフジコさんはお得意だ。

ピアノを弾くという行為は多量のカロリーを消費する。それにだいいち、体が柔軟でなければならない。だからソロ・リサイタルに向けて、フジコさんは目にみえないところでピアノを弾くための体づくりに努力され、厳しい自己管理をみずから課しているのだろう。そうでなければ、あのみずみずしくパワフルな演奏はあり得ない。それがあからこそ、人を感動させる音楽が生まれる。そんなフジコさんの2012年ソロ・リサイタルが今から待ち遠しくてならない。



©中島英雄

魂の音楽を奏でるピアニスト

ひとつひとつの音に色をつけるように弾いている——
そう語るフジコ・ヘミング、3年ぶりの名古屋でのソロリサイタル。

予定曲目 ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」
ショパン：プレリュード
リスト：ラ・カンパネラ 他

※事前予告なしに曲目が変更になる場合がありますので予めご了承ください。